

2012年6月4日
日本財団聴覚障害者海外奨学金事業
第5期生 川俣郁美
2012年春学期レポート

今学期は6クラス履修した。本来5クラスのみ予定だったが、どうしても受講したい春学期のみ開講のクラスがあった。6クラス受講するのは、体力的に厳しい聞いていたが、卒業までの履修クラス計画書を見てみると、今学期受講するのがベスト、ということで、最終的に6クラス受講となった。今学期は、今までで一番忙しい学期だったが、同時に、一番有意義な学期であった。

1) Human Diversity—人間多様性

人間多様性。社会には多様な背景をもった人が共生している。近年、グローバル化により、異なる人種や宗教、文化などを持った人々同士の交流が盛んになってきた。それに伴い、クライアントの幅が広がり、ニーズもさらに多様化してきている。そのニーズに対応するための知識とスキルを養うクラスである。

2) Human Behavior and Social Environment II—人間行動と社会環境 II

昨学期に続く、人間行動と社会環境の後半クラスである。昨学期は、生物的・心理的・社会的・文化的構成がどう人間個人の行動に影響するかを学んだが、後半は組織やコミュニティなど、集団の中での人間がどう行動するかについて学ぶ。また、コミュニティ・地域の向上のために、地域組織のニーズ・長所・方針・また、地域組織や地域活性化などに関するマクロレベルの理論を学んだ。マクロレベルの組織を訪問したり、ギャロデット大学に隣接するトリニダード地域向上のために、クラスで話し合い、実践した。

3) Case Management—ケースマネジメント

このクラスでは、ケースマネジメントの基本理念、概念、技術の習得を目指す。さらに、面接、アセスメント、援助計画作成、援助・介入、評価、終結、記録作成などの方法を学ぶ。クライアントの生活の質の向上をサポートするあらゆるサービス（社会保障制度、職業安定所、カウンセリング、デイケア、老人ホーム、など）について学んでいき、多角面から支援できるようにする。また、すべての人間を、人種、性別、国籍、年齢、障害、宗教、文化、社会的地位、性的指向、経済状況等の違いにかかわらず、かけがえのない存在として尊重するために適切な倫理的価値観を修得していく。様々なシチュエーションを想定したロールプレイングが多く行われ、実践的なクラスであった。

4) International Social Work and Human Rights—インターナショナルソーシャルワークと人権

国際社会の人権問題について学ぶ。貧困、飢餓、女性の権利、奴隷制、人身売買、強制労働、戦争、ジェノサイド、児童虐待、自然災害、エイズ、メンタルヘルス、拷問、障がい者など、様々な問題を取り上げ、分析し、国際問題の骨組みについて理解し、人権擁護と社会正義を実現する為に、ソーシャルワーカーができることは何かを学ぶ。また、そのようなそのような国際問題解決に取り組んでいる組織や、インターナショナルソーシャルワーク実践の際にありがちな価値観の違いや倫理的問題なども学んだ。ウガンダ初のろう者支援センターを設立したウガンダ人女性や、アメリカ国際障がい者評議会など、国際的活動を積極的に展開している方たちをゲスト講師として招き、彼等の話を聞くことができた。また、3月には、毎年ニューヨークの国連本部で行われるソーシャルワークデーに参加することができ、ソーシャルワークの最

前線で活躍している方々から話を聞くことができた。他の大学のソーシャルワーク学生とも交流することができ、刺激的であった。

国際問題とそれに対するソーシャルワーカーの姿勢をじっくり学ぶことができた。

5) Social Entrepreneurship—社会起業家

一般教養クラスのひとつ。このクラスでは、社会起業家について学ぶ。社会起業とは、営利目的ではなく社会貢献・向上を最大の目的とした事業のことである。現代の社会起業をリサーチ・分析し、社会起業の指針と構造を理解し、また、現代の深刻かつ複雑な社会問題を取り上げ、私たちに何ができるか、解決の糸口を考えた。3月には、社会起業学生カンファレンスに参加し、社会起業を目指す学生たちと意見交換・情報交換したり、分科会を受けた。学生の傍ら、すでにビジネスを始めている学生もいたので驚いた。とても有意義で刺激的なカンファレンスであった。

ビジネスについての知識は皆無なので、苦戦した部分もあったが、先生の丁寧でわかりやすい説明とクラスメイトの助けのおかげで、多くのことを学ぶことができた。

ビジネスは必ず成功する訳ではないが、失敗は成功のもと。失敗を糧にして、試行錯誤しながら、より良い企業を作り上げることで、より良い社会を作り出すことができる。このクラスで得た知識を無駄にせず、今後も活かして行きたい。

6) Political Theory I—政治理論 I

古代から現代に至るまでの様々な政治理論・政治思想を学んだ。また、政治思想と行政の関係性を学び、世界の国々の政治や外交についての理解を深めた。自由とは何か、正しい行い（正義）とは何か、美德とは何か。それぞれをどう定義するかによって、政治のあり方が違ってくる、ということも学んだ。

インターンシップ先決定

ソーシャルワーク学部の専攻科目には、1年間のインターンシップが含まれている。かくいう私も、いよいよ8月からインターンシップが始まる。4月下旬にめでたくインターンシップ先が決定した。今年の9月から来年の4月まで Public Defender Service Office of Rehabilitation and Development にお世話になる。今まで学び得て来たソーシャルワークの知識と経験を最大限活かし、さらに多くのことを学んで行きたい。